

患者の皆様へ

2023年2月27日

リハビリテーション科

現在、リハビリテーション科では、「髄腔内バクロフェン療法スクリーニング試験における適切な身体機能評価の検討：後方視的観察研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2015年1月～2021年12月に当院へ入院しリハビリテーションを受けた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「髄腔内バクロフェン療法スクリーニング試験における適切な身体機能評価の検討：後方視的観察研究」

2. 研究の意義・目的

髄腔内バクロフェン療法の治療候補者における髄腔内バクロフェン療法スクリーニング試験時の適切な身体機能評価項目を明らかにすることです。適切な身体機能評価項目が明らかになることで検査による患者さんの負担軽減や手術適応の精度向上などの意義があります。

3. 研究の方法

診療録に記載されている年齢、性別、身長などの一般診療情報、髄腔内バクロフェン療法スクリーニング試験前後での、筋緊張検査、関節可動域検査、徒手筋力検査、深部腱反射、歩行検査、バランス検査の結果を収集し、比較調査します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名を削除し、特定の個人が容易に識別できないように加工をして取り扱います。それぞれ研究用のIDを付与し、IDと氏名を一致させるための対応表は、当院リハビリテーション部の施錠可能な保管庫にて厳重に保管します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、当院リハビリテーション部の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院リハビリテーション部

理学療法士 黒岩 良太 043(222)7171 内線 6428

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。